


フィリピン共和国		首都	マニラ
 <p>白い三角はフィリピンの自由を、3つの星はルソン、ミンダナオ、ピサヤの主要な3つの島、8条の光をもつ星はスペインから独立したときの8つの州を表している。白は平等を、青は平和を、赤は勇気を表している。戦争が始まると天地を逆にし、赤を上にし、国民の勇気を奮い立たせるといわれている。</p>	国 の 概 要	国土	面積 30万km ² （日本の0.8倍） アジア大陸の東南に位置し、ルソン、ミンダナオなど大小7,000以上の島々からなる。環太平洋造山帯に属し、山がちな地勢で活火山が多く、地震も発生する。海岸にはサンゴ礁が発達し、群島の東側にはフィリピン海溝が南北に走っている。
		人口	8,857万人
		言語	フィリピノ語（国語）、タガログ語、英語
		通貨	ペソ
		気候	高温多湿の熱帯モンスーン気候、南西モンスーンが吹く5～11月が雨季で、スコール性の雨が降り台風の襲来も多い。南部のミンダナオ島は熱帯雨林気候である。
		民族	マレー系95%、中国系、スペイン系、少数民族
		宗教	カトリック81.04%、イスラム教5.06%、福音クリスチャン2.82%、フィリピン独立教会、イグレスシア・ニ・クリスト、他のキリスト教派など11.08%
教 育 制 度 の 概 要	学校体系	・幼稚園は4～5歳、初等教育は6～12歳で6年間、中等教育は13～16歳の4年間で、日本の中学校・高校にあたる。高等教育（大学）は4～8年間である。	
	義務教育	・小学校の6年間(6歳から12歳まで)である。 ・中等教育の公立校は無料で授業が受けられる。	
	日本と比較した教育課程上の特徴	・授業は学校によって少し違うが、午前7:30～11:30(10:00～10:30休憩)、午後13:30～17:30(15:00～15:30休憩)である。午前・午後の2部制のところもある。 ・公立学校には、部活動(クラブ)はないが、私立にはあるところもある。 ・学校により時間は異なるが、授業の始業前に国旗を掲げて、校歌を歌う。	
	義務教育後の教育	・中等教育の公立校は無料で授業が受けられるようになっている。 ・大学に進学する生徒は、30%程度で、そのうち、卒業できるのは75%である。	

	就学前教育	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園（2年間）で、公立と私立があり、最近は通う子が多い。裕福な子どもしか行けない地域もある。 ・幼稚園では、昼寝はなく、読み書きや英語も教える。 ・0歳～2歳までは、デイケアと呼ばれる場所で10:00～12:00まで過ごしたり、3歳からは保育園のようなところで過ごしたりする場合もある。 ・祖父母に世話してもらうことも多い。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育終了後、仕事はあまりなく、マニラ等の都市部では飲食店への就職が多い。公務員を目指す若い人は多い。 ・鉛筆や消しゴムなどの学用品が比較的高いので、買うのが大変である。 ・人口増加や財源不足に伴う教室や教科書の不足、教員の海外流出や教員不足などによる基礎学力の低下、貧困などによる生徒中退の増加などの課題がある。
学校生活	休業期間	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みは4・5月で、冬休みは、12月15日から1月1週目までである。 ・新学年は6月から始まり、3月までである。
	学級担任制、教科担任制等	<ul style="list-style-type: none"> ・初等は学級担任制で、中等は教科担任制でありホームルーム担任がいる。初等の中には、4年生から算数・理科・音楽は専科の先生が指導するところもある。 ・教師が足りなく、1担任が2教科くらい受け持つ。 ・成績表は年4回渡される。2学期制なので、1学期2回、2学期2回である。教科及び行動の記録を数字（1・2・3）で表す。年3回で%で表す学校もある。
	飛び級、落第の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・試験にパスすれば、飛び級できる。トータル的に優秀でなければならない。 ・学年末試験にパスできず、追試にもパスできなかった場合は落第となる。英語・数学・理科の評価をすべて落とすと落第になる。 ・欠席が多い場合は落第になる。
	教育内容の差異	<ul style="list-style-type: none"> ・初等は、フィリピン語（国語）、算数、理科、社会、音楽、体育、美術、英語、家庭を学習する。 ・中等は、国語、文学、数学、経済、歴史、理科、音楽、体育、美術、英語、家政・家庭、職業技能を学習する。スペイン語を学習するところもある。 ・小学校1年から英語の勉強をする。

	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳指導はない。 ・生徒数の多い学校では、何人かで教科書を共有して使うこともある。副教材はない。
学校行事の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校は遠足があるが、宿泊することはない。高校は修学旅行がある。 ・体育祭は2年に1回行うが、日本の運動会のようなものではなく、スポーツ大会である。1日目はセレモニー、2日目はトーナメントのゲーム、3日目はカーニバルというように3日間続けて行う学校もある。 ・音楽祭は毎年行う。(学校により異なる。) ・クリスマスのオーナメントのコンテストがある。クリスマス会でプレゼント交換をする。 ・1～6年生まで芝居をする会がある。(学校により異なる。) ・始業式・入学式・終業式は行わない。 ・卒業式の時、成績優秀者を表彰する。小・中・高校一緒で行い、1日ばかりである。終了後、おやつなどを食べて楽しむ。 ・Dr、ホセ・リサル(フィリピン独立の英雄)をたたえる行事がある。
給食	<ul style="list-style-type: none"> ・弁当を持参したり、食堂で買ったりする。自宅に帰って食べることもある。おやつも売っている。 ・おやつは休み時間(10:00)に食べてもよい。
チャイムや号令	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイムは授業の始まりと終わりに鳴る。ブザーのところやガスボンベみたいなものをたたくところもある。 ・授業が始まる時、先生が入ってきたら、リーダーが号令をかける。
教室における行動様式等の違い	<ul style="list-style-type: none"> ・長机に2・3人ですわっている教室が一般的である。 ・1クラスの人数が多く(50～60人位)教室の後ろまで机や椅子がびっしり入っている。 ・宿題の量は学校によって違う。 ・教師は勉強の時のみ指導する。休み時間は5人以上のグループをつくって遊ぶ。小・中・高校が一緒の敷地内にあり、校地内のけんかは厳禁とされている。
校則	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園から高校まで制服がある。 男・・・上は白のワイシャツ、下は紺か黒の半ズボン・長ズボン(学校によって異なる。)

		<p>女・・・上は白のブラウス、下は紺のスカート（学校によって異なる。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護系の大学は制服がある。（上下とも白） ・アクセサリや髪型は自由で、ピアスも許されている。 ・靴やかばんも自由である。 ・登校時間を過ぎると門が閉まり、中に入れない。
	保護者の授業参観、保護者会、PTA	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観がある学校とない学校がある。 ある場合・・・年に2～3回あり、多くの父兄が参加する。 ・保護者会・PTAの集まりも年2回位ある。夜、行われる学校もある。 ・個人面談は、問題を抱えた生徒のみ、行われる。保護者の悩み相談は担任とガイダンスカウンセラーが対応する。
	子どもの一日	<ul style="list-style-type: none"> ・月～金曜日は学校に行き、土曜日は家の手伝いをする。日曜日は家族揃って午前中は教会に行き、午後は家族で過ごす。 ・6時に起床し、午前中か午後どちらか学校に行き、半分はクラブ活動か自由時間となる。 ・夕食は早めで、就寝も早い。 ・学校が終わったら、まっすぐ家に帰り、すぐに宿題や授業の復習をする。バスケットボールやテレビゲームで遊ぶ子どももいる。 ・勉強でわからない点があると、友達や教師に相談する。最近塾に行く子どもも見られるようになった。 ・休日は、家の手伝いをしたり、テレビを見たりして過ごすことが多い。 ・ピアノ・ギター・ダンスなど習い事をする子もいる。 ・子どもだけの外出は基本的に禁止されている。 ・朝早く起きて、水を汲んだり、掃除をしたりする。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・一般に風呂がなく、朝一番に仕事をして、シャワーを浴びて登校する子どもも見られる。
生活習慣等	言葉の指導面の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書及び学校での授業は英語で、家庭ではタガログ語を使っている。 ・日本語の学習では、「ツ」と「ス」と「チュ」の区別がつかない、「ウ」と「オ」を混同してしまうことがある。
	指による数え方 計算方法の違い	<ul style="list-style-type: none"> ・人差し指から数える。 ・手をグーにして、小指から順に立てて1、2・・・と数える数え方もある。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ +、- の計算で 10 のまとまりはつくらない。 ・ 割り算のしかたが違う。
食生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主食は米で、副食には、肉、魚、野菜の料理、バゴオン（魚醤）や、アチャラ、マンゴーの漬物を食べる。 ・ 野菜はあまり食べず、果物を食べることが多い。 ・ 生ものは食べない。 ・ 伝統的な食事作法は、手でまるめて、口に運んで食べる。 ・ バナナは生食の他、加熱して食べる種類があり、酢豚やミリエンダという、揚げて砂糖をまぶしたお菓子もある。串にさして屋台で売っている。 ・ 辛い料理は少ない。 ・ 祭りには、ごちそうに豚の丸焼きが用意される。
衣服住居の違い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家はレンガ・コンクリートや木造が多い。壁が竹になっている家もある。 ・ 高床式で、下で鶏を飼ったり、いろいろな作業したりする。 ・ 家はあまり広くなく、大家族で住んでいる。 ・ 一年中暑いので、男性は T シャツ、女性はノースリーブが多い。（半そで） ・ 室内は土足で、浴室とトイレは一緒になっている。
交通規則の違い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車は右側通行で、地方ではセンターラインや信号はあまりない。信号は縦型である。 ・ 地下鉄はない。 ・ バス、ジープ、サイドカーが多く、電車はほんの少しである。 ・ 路線バスはあるが、バス停はなく、手をあげれば乗ることができる。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上下関係が厳しく、1 歳上でも尊敬の念、敬意を表す。 ・ 友達同士では、親しくなるとニックネームで呼ぶことが多い。 ・ 都市部の学校では、携帯電話が普及していて、生徒たちも約 80% が所有している。学校でも使用が認められている休憩時間や放課後には、携帯電話を使って頻りに友人や両親とメール交換をしている。 ・ じゃんけんは、「ジャンク アンド ポイ」といい、日本と同じように、石（バト）とはさみ（グンティン）と紙（パペル）で勝負します。石ははさみに勝って、はさみは紙に勝つ

	<p>て、紙は石に勝ちます。掛け声は「ジャンク エンド ポイ、 ハーリ ハーリ ホォイ、シーノ アン マタロ、シャ アン ウンゴォイ」と言います。</p>
--	---

<参考資料>

- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・世界の学校を見てみよう！（キッズ外務省）・・・・・・・・外務省
- ・諸外国の学校情報・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・アトラス
- ・フィリピンの教育事情・・・・・・・・・・・・・・・・CLAIR
- ・おもしろジャンケン・・・・・・・・日本アセアンセンター
- ・日本語指導教材の開発・・・・・・・・井上恵子
- ・世界の郷土料理・・・・・・・・KDDI
- ・日本語指導担当教員より（4名）
- ・海外日本人学校勤務経験教員より
- ・在日フィリッピン人より